

(様式 1)

令和 6 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立言問小学校
校長名	中嶋 保徳

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・全教科の観点別の平均正答率は、全国平均正答率以上は 51 観点中 36 観点であり、全観点比 76%であった。・第 3 学年では、全教科のすべての観点が全国平均を 5 ポイント以上、上回っている。・教科ごとに学年を通しての結果については、全国平均値と比較して、ほぼ良好な数値を示している。振り返り期間や、ICT 利用による繰り返し学習の成果と考えられる・国語の領域「読むこと」における平均正答率は、すべての学年で目標値と全国平均を上回っている。昨年度まで国語科の研究を行っており、その効果が表れている。	<ul style="list-style-type: none">・全国平均正答率を下回った観点は 15 観点。そのうち 14 観点は－5 ポイント以内であった。・第 2 学年の国語「主体的に取り組む態度」にが低く、無回答の割合が高かった。時間配分などから最後まで取り組めなかったと考えられる。・第 4 学年の社会の「思考・判断・表現」は平均正答率が低く、無回答の割合が高かった。資料の読み取りや、他の資料と関連付けて考えることに課題があると考えられる。・第 4、5、6 学年の社会「知識・技能」の項目が全国平均正答率を下回っている。誤答の傾向から地図記号や地形の名称などが定着していないと考えられる。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・「他者からの評価」の標準スコアが全国平均を上回っている学年が多い傾向にある。児童同士がお互いを認め合って生活しているようである。・「学級の絆」の標準スコアが全国平均を上回っている学年が多い傾向にある。児童同士の望ましい人間関係が構築されていと考えられる。	<ul style="list-style-type: none">・「規範意識、思いやり、発信力、対話、社会参画」の標準スコアが、全国平均より同等か下回っている学年が多い傾向にある。学習規律の確立や話し合い活動の充実が必要だと考える。・第 2、5、6 学年「学級の規範意識」の標準スコアが全国平均と同等、または下回っている。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
-----	-----

<ul style="list-style-type: none"> ・高学年と同様、低学年の放課後学習については今年度から、基礎基本の定着を主眼として行うことで、児童に応じた支援を行うことができている。 ・朝学習や家庭学習では、国語、算数を中心とした学習に取り組むことで、基礎的な学力の定着につながっている。 ・地域や保護者の協力があり、琴や生け花などの指導や革細工などの体験を行っており、多様な経験を積んだり、興味関心を広げたりすることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や理科において知識・技能を生かして問題を解く機会が少ない。授業や家庭学習、朝学習、放課後学習などを活用して演習問題に取り組む必要がある。 ・
--	--

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) ICTを活用した学習

- ・授業中や朝学習、家庭学習においてミライシードやロイノート内のふりかえりシートなどを活用し、学習している単元の振り返りや既習事項を復習する機会を増やして知識の定着を図る。基礎的な問題だけでなく問題文をよく読んで解くような応用問題にも取り組ませていく。
- ・すべての学年でタブレットを活用した授業展開を積極的に取り入れる。それぞれの教員が授業でICTを活用すると共に、教員同士が実践例を共有する場を設定することで、学校全体でICTを活用した授業力の向上を目指す。

(2) 朝学習、家庭学習、放課後学習の見直しと工夫

- ・今年度の学力調査の結果から社会、理科についての誤答の分析を行い、授業改善を行うとともに、朝学習や家庭学習で国語・算数と共に、社会、理科の内容についても取り組む。特に、第4、5、6学年では、ふりかえりシート等を授業で計画的に取り入れ、基本的な用語など知識の定着を図ることを意識した授業を展開する。
- ・第2、3、4学年の放課後学習は、昨年度まではすべての児童が対象だったため個別の支援が不十分だった。今年度は学力調査でDE層の児童を中心に放課後学習を実施し、一人一人の児童へのきめ細かい支援ができるようにする。

(3) 学習規律の確立と教室環境の整備

○学習内容の定着や学力の向上のためには、学習規律の確立や学習環境を整えることが基本である。学習規律チェックリストを使ってすべての学級において児童が安心して学習に取り組むことができるようにする。

- ・教室に掲示されている学習規律チェックリストを再確認し、各学級で指導をする。

〈学習規律チェックリスト〉	
・学習の準備をしてチャイム着席	・気持ちのよいあいさつ、返事
・丁寧な言葉で話す	・人の話を最後まで聞く
・良い姿勢	・机の上の整理整頓

- ・児童が学習に集中できる教室環境を整備する。

〈授業前や放課後にチェック〉

- ・床にごみや物は落ちていないか。
- ・机は整頓されているか。
- ・掲示物はきれいに整えられているか。
- ・黒板及び黒板周辺はきれいに整えられているか。

3 「令和7年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・学年や中学校の接続を見通した指導を行う。特に、学習の基礎となる、知識・理解の定着を図る。
- ・全ての学年、項目で全国平均を上回る。(重点教科 令和7年度 第4, 5, 6学年の社会、理科)
- ・全ての学年、項目で墨田区平均を上回る。(重点教科 令和7年度 第4, 5, 6学年の社会、理科)